

農林水産大臣

林 芳正 様

要 望 書

福 井 県

力強い農業の実現に関する要望

農業は、食料供給や国土の保全、水源の涵養などの機能に加え、観光や環境等と密接に関連しており、国を形づくる地域の重要な産業である。

国では「攻めの農林水産業」を掲げ、「農林水産業・地域の活力創造プラン」や本年3月に策定された「食料・農業・農村基本計画」において、農林水産業を産業として強くしていく「産業政策」と、国土保全といった多面的機能を発揮するための「地域政策」を車の両輪として取り組むこととしている。

本県においても、昨年3月に「ふくいの農業基本計画」を策定し、本県の農業を利益の上がる産業へステップアップさせるとともに、自然環境やふるさと文化を支える基盤を守る政策を進めている。

具体的には、集落営農組織や認定農業者が大規模施設園芸を導入し、経営の多角化を進めることとともに、農地中間管理機構を活用して、平成30年度までに農地の8割を集積・集約し、生産コストを削減することとしている。

については、次の事項について要望する。

記

1 強い農業づくり交付金の予算確保について

本県における大規模施設園芸を着実に進めるため、十分な額の強い農業づくり交付金（14億円）を配分すること。

植物工場	1か所（和郷）	事業費20億円（交付金10億円）
大規模園芸施設	4か所	事業費8億円（交付金4億円）

2 平成27年度機構集積協力金について

平成27年度機構集積協力金については、農地の集積・集約を積極的に進めている本県に重点的に配分すること。

〔平成27年度要望額 10億円〕

平成27年7月22日

福井県知事 西川一誠